



うみまる通信

NO. 1 創刊号
平成 17 年 5 月 20 日

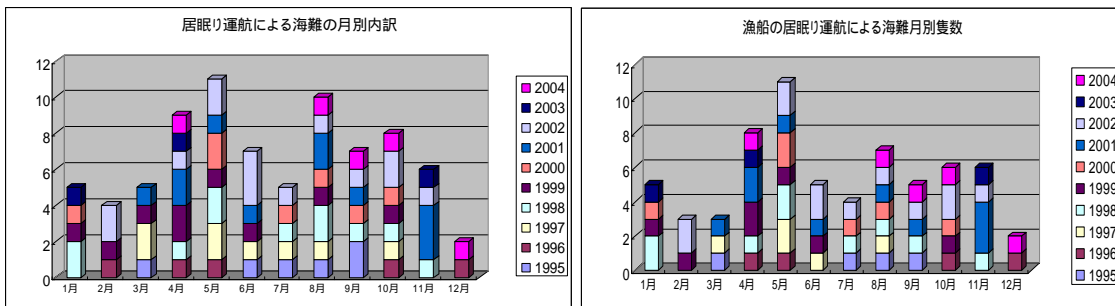
居眠りに御用心

ゴールデンウィークが終わり、すでに梅雨入りした地方もありますがこれから梅雨まで
はマリンレジャーにも最高の季節ではないでしょうか。お出かけの前には是非、海上保安
庁のホームページをご覧ください。海象模様や潮の干満など有用な情報が満載です。

ところで、春から初夏にかけては「春眠暁を覚えず」という訳ではないと思いますが、
居眠り運航による事故が多発しています。下のグラフは、当管区が過去 10 年に亘り調査し
た結果をまとめたものですが、一目瞭然の結果がお分かり頂けると思います。

運航者はもちろんですが、遊漁船での釣りに際しても見張りを励行し安全運航を心掛けて
ください。

【第十管区海上保安本部管内における居眠りが原因となった海難事故について】



私の町、私の母港



今回は鹿児島港です。

水族館周辺の様子ですが、巡視船
さつまの白くエレガントな姿も確
認できます。

2005.5.3 るりかけす 1号撮影

本コーナーは、鹿児島航空基地の航空機
がパトロール中に撮影した航空写真を毎
回紹介するコーナーです。

自己救命策確保
～3つの基本～
必ず着用！ **ライフジャケット**
必ず持とう！ **携帯電話**
もしものときは！ **118番**
ライフジャケット着用者の生存率は約8割！

平成 17 年 ゴールデンウィーク期間中の海浜事故

今年のゴールデンウィーク期間中(平成 17 年 4/29 ~ 5/8)の当管区内におけるマリナー中の事故は 3 件発生しており、その全員に当たる 4 名の方が死亡する結果となりました。昨年の同時期と比較すると、件数及び犠牲者の数ともに増加傾向にあります。楽しいはずのレジャー中の事故は、思わぬ結果を招くとともに凄惨を極めますので、十分な準備と万一の備えのもと余裕を持って行うよう心がけましょう。

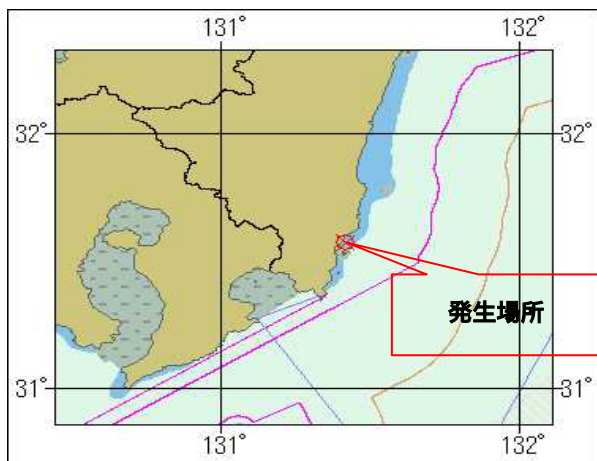
今回の事故の中から、重大なものについて概要をお知らせします。

事例 1 釣人、海中転落死亡(宮崎)

5 月 4 日、宮崎県日南市の岩場で、釣人の男性(60 代)が波にさらわれ、仲間が男性を引き揚げようとしたが、海中に沈み見えなくなり死亡するという事故が発生しました。

救命胴衣を着用していれば、助かった可能性も高く、誠に残念な事故でした。

特に磯釣りなど足場の悪いところでは、「**救命胴衣の常時着用**」をお願いします。



事例 2 ダイバー、2 名死亡(奄美大島)

5 月 6 日、奄美群島加計呂麻島において、ガイド 1 名と共にダイビング中の男性(30 代)と女性(20 代)の 2 名が死亡するという事故が発生しました。

原因については、現在調査中ですが同時に 2 名の方が亡くなるという痛ましい事故に関係者の間でも緊急対策が叫ばれております。

ダイビングシーズンを迎え次の点に留意し、安全を確保のうえ楽しんでください。

- ・ 「**技術レベル及び体力に応じた潜水計画**」
- ・ 「**気象・海象の把握**」

追加事例 水上バイク衝突、2名重症

5月15日、熊本県天草郡松島町樋島沖合において、水上バイク同士2台の衝突事故が発生し、乗船者4名のうち2名が肺挫傷・骨盤骨折等の重症を負う事故が発生しております。

水上バイクについては、例年遊泳者、漁船及び関係漁協等から航走マナーなどに関する苦情も多数寄せられていることから、本格的な夏のシーズンを目前にし、「**海のマナー**」を守り、特に次の点に留意のうえ遊走を楽しんで下さい。

- ・ 「**四囲の安全確認を行い、航走開始する**」
- ・ 「**狭隘な場所での複数航走の場合、急激な方向転換等をしない**」

